播磨福祉事業館だより

たけのこ

第64号
播磨福祉事業館
令和４年８月１日　発行
〒671-2234　姫路市西脇１448の４
TEL(079)269－0410
FAX(079)269－0495
http://www.harimafukushi.com/
E-mail harimafukushi@meg.winknet.ne.jp

おかげさまで　開設50周年！

障害者支援施設 播磨福祉事業館は、2022年４月１日、開設50年という大きな節目を迎えました。昭和47年、県下では２番目となる重度身体障害者授産施設として開設。

以来、多くの利用者の技能習得や働く喜びの提供、集団生活の中での自律精神を養うことなどに取り組んでまいりました。半世紀もの間、事業をこのように続けてこられたのは、地域の皆様のご理解や応援と、関係機関のご支援ご協力があったからこそと、ひとえに感謝申し上げます。今後もなお一層のお力添えをお願いいたします。

50周年式典

三宅理事長式辞

永年勤続表彰

5月26日、理事・監事・評議員・評議員選任解任委員、職員・利用者の代表の皆様、総勢50名で開設50周年の式典を開催しました。初めに三宅知行理事長の式辞、利用者への記念品贈呈、続いて永年勤めていただいている理事・監事・評議員、職員の皆様の表彰を行い、50年間を振り返るスライドを上映。利用者代表のお礼の言葉で締めくくりました。

そして6月14日には、開設当初から交流を持っていただいている、黒住教福崎中教会所の玉臺正和所長をはじめ、4名の皆様にご来館いただき、永年の交流に対し感謝状を贈呈いたしました。

またこの日、全利用者と全職員で50周年を祝っての祝賀会を開催。カラオケ、50周年にちなんだクイズ、館歌のハンドベル演奏など、とても楽しく盛り上がったお祝い会となりました。

感謝状贈呈

玉臺所長の挨拶

館歌ハンドベル演奏

記念食事会

「思い出を語ろう②」

今年、五〇周年という節目の年を迎えた事業館ですが、前回に続き、四〇年以上事業館に在籍しておられる利用者の方に昔話を語っていただきました。

牛房洋子さん　昭和四七年入所
森　茂子さん　昭和四七年入所
三宅喜代子さん　昭和四七年入所
村田一三さん　昭和五〇年入所
粕谷なつ代さん　昭和五一年入所
寺元嵩明さん　昭和五一年入所
阿部仁一さん　昭和五二年入所

■初めて事業館へ来た時の思いは？

寺元　あたたかい人が居るところやなあと思った。

村田　事業館に来る前、玉津のリハビリテーションセンターに一緒に居た仲間から、「播磨福祉事業館には怖い職員がおるらしいぞ」と聞かされていて、冷や冷やしながら来たが、怖い職員は居なかった。

牛房　最初に事業館に来た時、ここでこれから辛抱して居られるだろうかと不安だった。ちょっと寂しい時もあったけど、印刷の仕事を覚えているうちに時間が過ぎてしまった。今はここ（事業館）で良かったと思う。

■思い出に残っている作業は？

粕谷　最初にやっていたのはドッグガムの袋詰め作業。それから竹刀の先の革にひもを通す作業。印刷の作業では製本作業をしていました。竹刀の作業は今でもやってみたいです。

寺元　ハンドルカバーの仕事をしていた。あの頃は若かったから、なんぼでも仕事ができたな～　今は無理やけど…

阿部　僕は、箱折り作業の結束作業が一番思い出に残っています。あの頃は一番自分がキラキラしていたように思う。

牛房　入所してすぐに活版印刷の大きな機械を操作するように言われ、全くの素人だったのに、一生懸命覚えて、なんとか動かせるようになりました。良い思い出です。

三宅　ドッグガムの袋詰め作業をしたこと。初めて工賃を貰った時は嬉しかったです。

村田　いろんな作業をしてきたけど、クリスマスのサンタブーツを作ったことなどが懐かしい思い出です。

森　いっぱい、いろいろしてきた。でも、今やっているバーコード貼りの作業が一番好きです。

■忘れられない利用者・職員は？

粕谷　Y指導員（授産施設当時、指導員と呼んでいました）。優しくて、味のある職員さんでした。

寺元　利用者のSさん。友情の会（利用者の自治会）で外回りの掃除をしている時に、竹箒を振り回して大喧嘩した。理由は…聞かないで！

牛房　今は老人ホームへ行ってしまったけどFさん。一番仲良しだった。職員ではおじいちゃんのようなYさんかな。

三宅　利用者のTさん。一緒に過ごした時間がとても幸せだったな…

村田　職員のWさん。優しくて大好きでした。

森　エヘヘヘ…　職員のーさん。

みんな　森さんだけは思い出の話しじゃなくて今居る職員や！

■事業館に入所して良かったことは？

粕谷　いろんな所へ旅行に行ったこと。鳥取へ行ったことが印象に残っています。

寺元　浜坂温泉保養荘に三回行った。温泉に入って、ごちそうを食べて、最高に楽しかった。

阿部　職員のTさんと仲良くなれたことが一番かな…

牛房　大きな印刷機を操作したことや、ロン（迷い犬）を連れて散歩に行ったこと。

三宅　Tさんと部屋で恋バナをしたこと♡

村田　利用者のK君やNさんと一緒にあちこちへ出かけたこと。

■工賃はどのように遣っていましたか？

寺元　太子のサンパークとかへ二・三人で出かけ買い物していた。

阿部　たつののジャスコやダイエーへ行ってお寿司を買ってきたり…

■昔と比べて今の生活はどう？

寺元　四人部屋から一人部屋になってとても良い。テレビもゆっくり好きな番組を見られる。

阿部　昔は、ポットで袋ラーメンを作っていた。うまかったな～。ポットでゆで卵を作っていた人もおったし…

寺元　それ、わしや！　悪いこと、し放題やったな…　ケンカやいざこざもあったけど、今はトラブルも無くなって毎日楽しい。

粕谷　バリバリ仕事をしていた頃に戻りたいな…

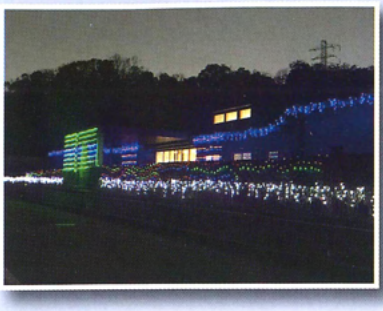
みんな　エッ？　粕谷さんにそんな時があったっけ？

みんな若かったな～　いろんな思い出話に花が咲き、楽しいひと時でした。次の五十年に向け、楽しい思い出を積み重ねていきましょう。

コロナが終息したら…？　と聞くと、みんな旅行に行きたいとの意見。淡路島、花を見に行きたい、日本海が見たい、出身地の岡山へ、大阪で食い倒れ、餘部鉄橋を見て城崎温泉…　早く旅行に行ける日が来ますように。

行事紹介

事業館ルミナリエ



新型コロナウイルスの影響で、地域の方との交流行事が一切開催できなくなり、何か地域の方に発信できないか…と考え、ささやかながら、癒しの異次元空間を提供したいと思い、年末から年始にかけイルミネーションを点灯しました。
初日は、地域の方々も参加いただき点灯式を行いました。
事業館始まって以来のイルミ点灯。少し雰囲気が変わったかな。

創作活動

5月12日の創作活動では、希望者による紫陽花作りを行いました。色とりどりの紫陽花、そして葉の上にはカタツムリも。みんな上手に作りました。

風船バレー

5月24日、レクリエーションとして、風船バレーを行いました。見ていると簡単そうですが、やってみるとなかなか思うように打ち返せずたいへん！みんなで笑って動いて良い運動になりました。

青空喫茶

5月31日、恒例となった青空喫茶を開催。ホットケーキも上手に焼けて、みんな大満足。青空の下で美味しく楽しいひと時を過ごしました。

太市小学校4年生校外学習

6月21日、太市小学校4年生8名の皆さんが、校外学習で事業館へ来てくださいました。施設内の見学、特殊浴槽や介護ロボット体験、作業体験、最後は利用者の皆さんとの意見交換を行いました。
後日、一人一人が書いてくださった感想文をいただきました。車いすでも困らないよう工夫され、設備を整えていることが印象に残ったようでした。

お楽しみ外食デー

6月30日、久しぶりにお出かけ行事を再開。この日を「待っていました！」と、第1陣の5名が、レストラン「光都キッチンわかな」さんへ行ってきました。もちろん感染予防対策もしっかり。いつもと違った雰囲気でいただく食事は最高でした。

七夕そうめん

今年も七夕の短冊には「宝くじが当たりますように」「家族みんなが健康で過ごせますように」といった定番の願いのほかに「早くコロナが収まって買い物に行けますように」や「戦争が終わりますように」といった社会情勢を反映したものまでいろんな願い事が。そして、今年も地元の竹で作った器で地元のおいしいそうめんをいただきました。

今日の一枚

恐らく開設当初から取り付けてあったと思われる車椅子注意の看板。事業館東側のフェンスに複数枚取り付けてありましたが、とうとう最後の1枚も劣化し、風が吹けば飛びそうな状態となり、この度その役目を終えることとなりました。姫路市社会福祉協議会　姫路善意銀行の文字が確認できます。長い間、利用者の安全を守ってくれました。ありがとうございました。

※50周年記念誌と50年の歩みを凝縮した記念のDVDができました。ご希望の方はご一報ください。

編集後記

開設50周年、コロナ禍という状況から、やむなく法人内部だけで小さくお祝いをし、そして次の50年に向けて歩み始めることとなりました。地域の皆さまやご支援をいただいている関係の皆さまには、今後の行事などを通じ、感謝の思いをお伝えしていきたいと考えております。お許しください。先の見えないコロナ、年々暑くなる夏、物価の高騰・・・あまり良い話題が無い日々。みんなが集まり楽しく笑い合える「ふれあい祭り」が早く開催できますように。